

# 再評価調書

NO. 1

事業名	林道事業	事業区間	若狭遠敷線(おおい町名田庄木谷～小浜市下根来)			
事業目的						
効率的な林業経営の展開や適正な森林管理および森林が有する県土保全、水源かん養等の公益的機能の高度発揮を図るため、広域に及ぶ森林を健全に管理する骨格的林道として整備する。						
全体事業内容						
全体延長 L=19,600m 幅員 W=4.0m～5.0m						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成12年度	-	平成13年度	令和8年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額(R1年度まで)	進捗率(R1末)	残事業費(R2以降残額)	備考
予算額		5,680,000	4,551,880	80.1%	1,128,120	
財源内訳	国庫	2,765,409	2,228,210		537,199	
	県他	2,914,591	2,323,670		590,921	
費用対効果		1.38(総費用 78.7億円、総便益 108.5億円)				
事業の進捗状況	R1までの状況	延長 L=15,073m 木材生産量(整備前)300m <sup>3</sup> /年 ⇒ (現在)1,300m <sup>3</sup> /年 ⇒ (将来)3,500m <sup>3</sup> /年				
	R2以降残事業	延長 L=4,527m				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	51.7億円	56.8億円	平成30年に発生した落石により、落石防止対策が必要(1.4億円)となり、また、法面を触らず川側に拡幅する改築断面に変更が必要(2.6億円)となった。さらに労務費・資材単価等の上昇と消費税の増税(1.1億円)に伴い、合わせて5.1億円の事業費が増額となった。			
完成予定年度	令和3年度	令和8年度	上記の追加対策等により、事業期間の延長が5年必要となった。(R3→R8)			
事業を休止した場合の影響						
利用区域内の半分以上をスギを中心とした人工林が占めており、林道が今後整備されなければ、間伐等適正な森林整備が進まず、間伐材の有効な利用促進が図れなくなる。 また、森林整備の遅れは災害発生の原因となる山地荒廃が進むなど、森林の持つ公益的機能が十分に発揮されなくなる。						
備考						